

特別支援教育目標

一人一人の子どもの実態を把握し、個に応じた適切な指導を行うことにより、社会生活の中で心豊かに主体的に生きていこうとする子どもの育成に努める。

あおば2組経営案

担任 関 孝和

目 標			一 学 期	二 学 期	三 学 期
	自分に自信をもち、自己肯定感を高めることが出来る子供を育てる。				
学級重点目標	1	自己の課題に真摯に取り組み、分かる喜びや学ぶ楽しさを感じる子どもを育てる。			
	2	友達や先生と進んで関わり、安心して明るい学校生活を送る子どもを育てる。			
	3	基本的な生活習慣を身に付けることができる子どもを育てる。			
	4	保護者との連携を図りながら、個に応じた支援を心がけ、信頼関係を築く。			
学級経営の 具体策	I 豊かな心と 健やかな体	1	明るくはっきりとしたあいさつや返事ができるよう、自らが手本となって習慣化させる。		
		2	一人ひとりの良さを知る機会を持つことで、互いに認め合い、助け合えることが出来るようにする。		
		3	交流学級担任と連携し、子どもたちが交流学級の友達や先生とも進んで関わるができるようにはたらきかける。		
		4	家庭と連携を図り、「ハチツボネブ」を習慣化させると共に、自身の体を清潔に保つ意識を高め、基本的な生活習慣が整うことが出来るようにする。		
		5	自分だけでなく、相手の気持ちを考えて行動できるようにする。		
	II 確かな学力と個性の伸長	1	自分の一日の学習予定・生活予定を把握させることで、落ち着いて、学習に取り組むことができるようにする。		
		2	子どもの実態に合った目標を掲げ、指導計画や教材や教具の工夫を行い、目標達成を目指していく。		
		3	読み聞かせやブックトーク等を取り入れ、読書の楽しさに触れる機会を多くもち、より多くの本と出会えるようにする。		
	III 信頼される学校	1	連絡帳や学級通信等を通して、保護者との連携を深める。		
		2	全保護者と計画的に教育相談を実施し、子どもたちの望ましい成長に向けて支援することができるようにする。		
		3	PTA行事や地域行事等に積極的に参加し、保護者や地域との連携を深めていく。		